

## 9 収入状況について（税込み）

### (1) 給水収益等の収入状況

給水収益現年度分の収入率は、水道事業が97.9%、鶴形簡易水道事業が99.1%となっている。前年度と比較してみると、水道事業は0.2ポイント下回っているが、鶴形簡易水道事業は0.2ポイント上回っている。

水道事業の給水収益繰越分の未収入額は7,898,092円で、前年度より383,063円増加している。また、不納欠損処分後の調定額24,616,966円に対する収入率は67.9%で、前年度と比較すると4.3ポイント上回っている。しかし、繰越分の未収入額は増加しており、当年度では8,000,000円に迫る金額となっている。

鶴形簡易水道事業の給水収益繰越分の収入率は100.0%で、未収入額はない。

収入状況の内訳は、次のとおりである。

(単位：円、%)

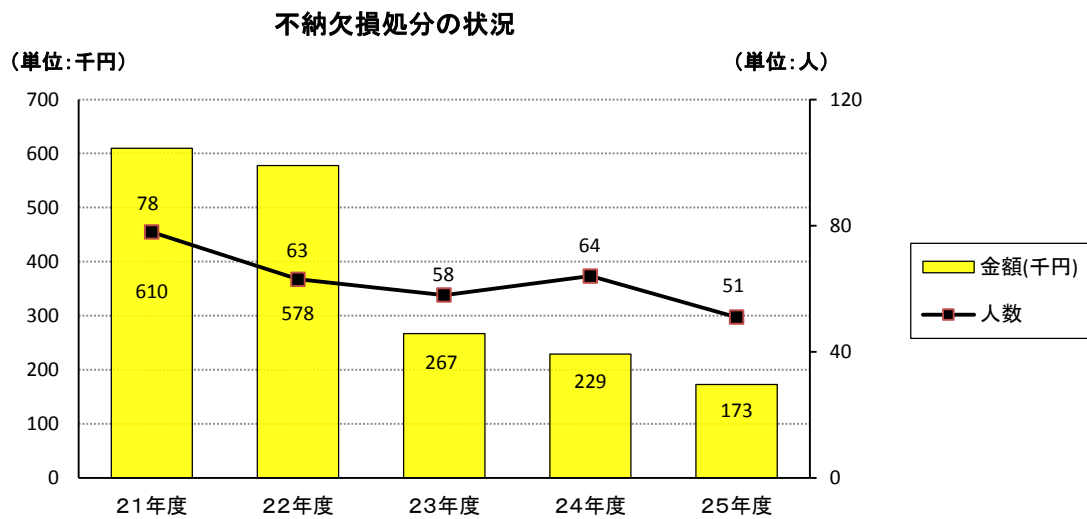
区 分			調定額	不納欠損額	差引調定額	収入額	未収入額	収入率
現 年 度 分	水 道 事 業	営 業 収 益	949,264,803	0	949,264,803	920,770,442	28,494,361	97.0
		給 水 収 益	908,003,737	0	908,003,737	889,264,992	18,738,745	97.9
		その他の営業収益	41,261,066	0	41,261,066	31,505,450	9,755,616	76.4
		営 業 外 収 益	1,795,373	0	1,795,373	1,394,455	400,918	77.7
		計	951,060,176	0	951,060,176	922,164,897	28,895,279	97.0
	鶴 形 簡 易 水 道 事 業	営 業 収 益	8,117,095	0	8,117,095	8,041,183	75,912	99.1
		給 水 収 益	8,117,095	0	8,117,095	8,041,183	75,912	99.1
		その他の営業収益	0	0	0	0	0	0.0
		営 業 外 収 益	992,017	0	992,017	500,724	491,293	50.5
		計	9,109,112	0	9,109,112	8,541,907	567,205	93.8
小 計			960,169,288	0	960,169,288	930,706,804	29,462,484	96.9
繰 越 分	水 道 事 業	営 業 収 益	34,093,279	173,589	33,919,690	26,021,598	7,898,092	76.7
		給 水 収 益	24,790,555	173,589	24,616,966	16,718,874	7,898,092	67.9
		その他の営業収益	9,302,724	0	9,302,724	9,302,724	0	100.0
		営 業 外 収 益	470,755		470,755	470,755	0	100.0
		計	34,564,034	173,589	34,390,445	26,492,353	7,898,092	77.0
	鶴 形 簡 易 水 道 事 業	営 業 収 益	91,602	0	91,602	91,602	0	100.0
		給 水 収 益	91,602	0	91,602	91,602	0	100.0
		営 業 外 収 益	508,306		508,306	508,306	0	100.0
		計	599,908	0	599,908	599,908	0	100.0
		小 計	35,163,942	173,589	34,990,353	27,092,261	7,898,092	77.4
合 計			995,333,230	173,589	995,159,641	957,799,065	37,360,576	96.2

## (2) 不納欠損の状況

不納欠損処分額は173,589円で、前年度に比較して55,418円（24.2%）の減であり、いずれも水道事業分である。対象者は51人（うち法人5社）で、前年度に比較して13人の減となっている。

不納欠損の理由は、無届転居が40人、倒産5社、死亡6人となっている。

不納欠損の推移は、次のグラフのとおりである。



## 10 補てん財源について（税込み）

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額（差引決算額）418,244,143円は、損益勘定の現金支出を伴わない費用である減価償却費等や減債積立金等の内部留保資金で補てんされる。

補てん財源は、水道事業及び鶴形簡易水道事業ごとに管理され、内訳は次のとおりである。

（単位：円）

区 分		補てん財源額	補てん額	残 額
水道事業	当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	4,437,949	4,437,949	0
	減 債 積 立 金	132,268,265	132,268,265	0
	過年度分損益勘定留保資金	3,252,994	3,252,994	0
	当年度分損益勘定留保資金	299,070,043	276,643,233	22,426,810
	減 価 償 却 費	298,983,052		
	資 産 減 耗 費	86,991		
	当年度分未処分利益剰余金	244,372,484	0	244,372,484
	計	683,401,735	416,602,441	266,799,294
鶴形簡易水道事業	当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	14,250	14,250	0
	減 債 積 立 金	812,245	812,245	0
	過年度分損益勘定留保資金	1,356,786	815,207	541,579
	当年度分損益勘定留保資金	2,790,186	0	2,790,186
	減 価 償 却 費	2,790,186		
	資 産 減 耗 費	0		
	当年度分未処分利益剰余金	4,967,203	0	4,967,203
	計	9,940,670	1,641,702	8,298,968
合 計	当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	4,452,199	4,452,199	0
	減 債 積 立 金	133,080,510	133,080,510	0
	過年度分損益勘定留保資金	4,609,780	4,068,201	541,579
	当年度分損益勘定留保資金	301,860,229	276,643,233	25,216,996
	減 価 償 却 費	301,773,238		
	資 産 減 耗 費	86,991		
	当年度分未処分利益剰余金	249,339,687	0	249,339,687
	計	693,342,405	418,244,143	275,098,262

上記の表にある補てん財源は、上から順に補てん財源として使用することになっており、当該年度で補てんに使用する額が補てん財源額を下回り、残った場合は翌年度に過年度分として使用することができるものである。本年度は、補てん財源額が693,342,405円に対し、資本的収支の不足額は418,244,143円であり、残り275,098,262円が翌年度へ繰り越されることになる。

## 11 予算議決事項について（税込み）

予算第5条企業債、第6条一時借入金、第8条議会の議決を経なければ流用することができない経費、第9条他会計からの補助金、第11条たな卸資産の購入限度額については、いずれも議決されたところに従って適正に執行されている。

（単位：円）

区 分	議 決 額	執 行 額	比 較 増 減
企 業 債	80,500,000	79,800,000	-700,000
一 時 借 入 金	170,000,000	0	-170,000,000
職 員 給 与 費	70,516,000	69,551,431	-964,569
交 際 費	10,000	0	-10,000
他 会 計 補 助 金	10,743,000	10,742,322	-678
た な 卸 資 産	4,895,000	4,116,462	-778,538